

**令和4年度事業報告**  
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

学校法人東海医療学園の令和4年度事業を報告する。

- 1. 基本方針           健康を支える人づくり
- 2. テーマ            東海医療学園のブランド力を高める
- 3. 重点目標         1) 魅力ある学校づくり  
                      2) 地域貢献  
                      3) 運営基盤の強化

1) 魅力ある学校づくり

(1) 教育理念・目的・人材育成像の明確化と共通理解

(2) 学校運営

① 理事会・評議員会、学校運営会議等開催

本学園の業務執行に関する重要事項について、理事会、評議員会を開催したこと。

・理事会

開催日	議事等
令和4年5月24日	令和3年度事業報告、決算・監査報告など
令和5年3月17日	令和5年度事業計画、予算案、人事異動 など

・評議員会

開催日	議事等
令和4年5月24日	令和3年度事業報告、決算・監査報告など
令和5年3月17日	令和5年度事業計画、予算案、人事異動 など

・学校運営会議

各上長を委員として毎月開催（8月除く）。PDCAサイクルに基づき、重点目標の達成度などの確認を行った。

② 学校関係者評価委員会 5/19（木）を開催。問題点の把握、改善等の実施と、その結果についてホームページ等で公表を行った。

③ 学則、就業規則等の諸規程の整備・見直しを行い、教職員の労働時間や有給休暇の取得等の適正化を行った。

(3) 教育活動

① 新型コロナウイルスの静岡県の感染動向に注視しながら、授業、実習については全て対面授業として実施した。

② ICT教育開始に向け、ICT教育委員会を立ち上げ準備を始めた。

③ 職業教育の質を高めるため、毎月、カリキュラム会議、教育会議を開催。また、職能団体や関連企業の役員、有識者等による年2回の教育課程編成委員会を開催した。（令和4年度実施日：第1回 7/5(火)、第2回 11/8(火)）

- ④ 分かりやすい授業への取組みとして、教育活動の自己点検・評価を推進、個々の教員による自己点検、学生による授業評価、校長による授業参観等による授業の改善向上に努めた。
- ⑤ 教職員の資質向上のための学内外における研修等へ参加した。
- ア. 4/6(水)に学内研修会を実施した。  
テーマ：「ICT教育について」 講師：森みずほ（リクルート株式会社）
- イ. 6/3（金）～6/5（日）東京（有明医療大学）で開催された第71回全日本鍼灸学会学術大会に参加した。
- ウ. 8/18（木）、8/19(金)に京都府で開催の第46回東洋療法学校協会教員研修会に参加した。
- ⑥ 進級率・卒業率の向上、国家試験・AT認定試験の合格率向上を目指し、指導を行った。
- ア. 国家試験合格率（新卒者）は、あん摩マッサージ指圧師が100%、（33名中33名合格）、はり師69.7%（33名中23名合格）、きゅう師72.7（33名中24名合格）であった。
- イ. 中途退学の防止に対する取組みを行ってきたが、令和4年度8名の退学者（1年生5名、2年1名、3年生2名）があり、退学率7.7%となった。  
理由としては経済的理由1名、体調不良3名、進路変更4名。また退学者のうち、1年生2名、3年生1名は休学中の者であった。
- ウ. 休学者は1名（1年1名）。理由は体調不良であった。
- エ. 原級留置者は1名（3年生1名）であり、理由は成績不良であった。  
留年率は1%となる。
- オ. 新入生プレスクール（入学前教育）を3月に2回実施した。
- ⑦ その他の教育活動として以下のことを行った。
- ア. 10/12（水）東京都で開催された、第43回東洋療法学校協会学術大会に参加し、学生発表の演題に関する指導・協力を行った。
- イ. 5/2(月)にレクリエーション大会、10/30(日)学園祭等のイベントを3年ぶりに開催した。
- ウ. 卒後臨床専攻コースを継続して行った。
- エ. 卒後鍼灸臨床実技セミナーを2回開催した。  
・6/19(日)「越石式灸テクニック」越石まつ江先生（越石鍼灸院 院長）  
・9/18(日)「美容鍼」山崎 翼先生（明治国際医療大学）
- オ. 校友会に協力し、セミナー動画をyoutubeにて公開した。
- ⑧ 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー認定試験について、令和4年度理論試験合格者はいなかった。
- ⑨ 自己点検・評価及び学校関係者評価  
令和3年度学校運営、教育活動等について、自己点検・評価を実施し学校関係者評価委員会を開催し適正な評価を行った。最終的に報告書にまとめ、ホームページ等で公表した。

#### (4) 学生支援

- ① 進路支援として以下のことを実施した。
  - ア. 担任、就職担当者と連携し個別相談。
  - イ. 外部講師による就職セミナーの開催（7/13(水)）
  - ウ. 求人先を招聘しての就職ガイダンスの開催（11/30(水)）  
コロナ禍の中で例年より規模を縮小し開催した（参加事業所等 24 件）
  - エ. 就職情報アプリ「キャリアマップ」を導入し、求人、職場見学等の情報提供等を円滑に行えるよう就職サポートをした。
- ② 学生、教職員の健康管理として以下のことを行った。
  - ア. 学校保健安全法に基づく学生および教職員の健康診断の実施（5/25）
  - イ. B型肝炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス等感染症の予防に努める。
  - ウ. 臨床心理士協力のもと、1年生に対し「健康チェック」を実施。学生の心身の状態を把握し、早期対応に努めた。
- ③ 学校生活、学費面での支援や相談を行った。
  - ア. 臨床心理士による「学生相談室」の継続。
  - イ. 学費面での支援として、以下の制度の利用紹介、対応を行った。
    - (ア) 日本学生支援機構奨学金
    - (イ) 専門実践教育訓練給付金
    - (ウ) 高等教育の修学支援新制度
    - (エ) 国の教育ローン等、一般の奨学金以外の融資情報
    - (オ) 校友会奨学金制度
    - (カ) 納付金分割などの対応
    - (キ) 企業奨学生制度を開始した

## （５）教育環境の整備

- ① 1号館4階男性トイレの改修を行った。
- ② 1号館会議室のエアコンの入替を行った。
- ③ その他、図書や備品の充実を図った。

## 2) 地域への貢献

- (1) 地域交流イベント（学園祭）、マルシェ、バザーなどを開催し、地域住民との交流を行った。
- (2) 小田原アリーナで開催されている「全国定時制高校バドミントン大会」にて、ATコースの学生が中心となりサポートを行なった。また、近隣高校の部活動の現場実習も実施した。
- (3) 伊豆山土石流災害の被災者等への支援活動として、伊豆山「いずさんち」において、熱海鍼灸マッサージ師会員とともに温灸体験、コグニサイズなどのサロン活動を行った。

## 3) 学校運営基盤の強化

### 定員充足率 100%に向けた広報・募集活動

- ① 効果的、効率的な広報活動を行うため広報室を設置し、定期的なミーティングを実施した。
- ① ホームページ、SNS（Facebook、Instagram、Twitter、LINE）等を利用して

情報発信を行った。

② オープンキャンパス、学校説明会等の実施

学校、分野理解を主なテーマとし、志願者の増加を目的とした、実技体験を含む「オープンキャンパス」、入試対策を交えた「高校生対象学校説明会」、社会人向けの「夜間時間帯の学校説明会」を柱として開催した。

名 称	開 催 日
オープンキャンパス 13：00～15：30	5/8(日), 6/12(日), 7/10(日), 7/24(日), 8/21(日), 9/4(日), 10/23(日), 11/27(日), 12/11(日), 1/29(日), 2/19(日) 3/21(祝)
高校生対象入試説明会 10：30～12：00	4/24(日), 5/29(日), 6/26(日), 7/16(土), 8/11(木)
夜間の学校説明会 18：30～20：00	9/16(金), 10/14(金), 11/11(金), 12/22(木), 1/19(木)

③ 進学相談会への参加

業者等主催の会場形式及び高等学校内の進学相談会に積極的に参加した。

④ 受験雑誌、学会等媒体へ広告掲出を行い、学校の認知、資料請求者数の増加を図ったこと。

ア. リクルート、マイナビなど、高校生向けの受験雑誌媒体への広告掲出。

イ. 学会誌、業界誌等への広告を掲出。

ウ. 駅看板広告を設置。JR 沼津駅北口コンコース、伊豆箱根鉄道大場駅、小田原駅に掲出。

⑤ 高校訪問については、コロナ禍の中で受入可能な高校を中心に行った。

⑥ 卒業生との連携による広報

ア. 卒業生紹介制度の継続

校友（卒業生）からの学生紹介制度を継続して実施した。紹介者には謝礼として2万円の商品券を贈呈。また、該当入学者には教科書、実習費から5万円分減免という対応を行った。

イ. 卒業生の開業先の紹介

卒業生の開業治療院等の紹介ページを作成し、継続してホームページにて公開した。

⑦ 「卒業生に会いたい」企画を実施

主に個人開業している卒業生を訪ね、その近況等取材してホームページや校内掲示を行った。

⑧ インターネットによる出願を導入し、出願を利便化した。